



竹島直樹
(柊の会)

病院診療費の未収金の現状は

令和4年度までで
4,837万8,760円

問 他の市民病院が診療費を未収のまま放置し、不能欠損金として処理したとの報道があったが、中央病院の病院診療費の未収金の現状は。

答 令和4年度までの診療費の未収金は、5月10日現在で、入院分3,657万571円、外来分1,180万8,189円、合計4,837万8,760円です。

問 未収金を減らすためにどのようなことをするべきと考えるか。

答 具体的には、電話連絡による分割納付の相談に応じ、納付を続けていただいていることで、時効が成立しないようにしています。今後も適正な事務を進めていきます。

問 市在住の外国人の数は。

答 令和5年3月31日現在で354人です。

問 外国人が多く定住することで、人口減少対策、労働者不足対策、地域活性化などのメリットがあることから、様々な施策を行い、市在住の外国人を増やすべきではないかと思うが、市の見解は。

答 現在のところ外国人に特化した移住定住施策の展開は考えていませんが、今後どのような支援ができるのか、国内の動向の把握に努めながら外国人が安心して生活できるよう受入態勢の充実を検討していきたいと考えています。

問 不適切保育に対する指導をどのようにしているか。

答 国が令和5年5月に策定したガイドラインに基づき、虐待等を未然に防止する環境や体制づくり等を行うよう保育所等に対して周知をしました。引き続き保育所等と緊密に連携しながら不適切保育の未然防止に努めていきたいと考えています。



山田洋子
(柊の会)

第4次市ごみ減量行動計画 の取組状況は

生ごみ排出量は減少
リサイクル率は増加

問 第4次市ごみ減量行動計画の取組状況は。

答 生ごみ減量化の推進や資源回収を行う団体に交付する奨励金単価の引き上げ、パソコンや小型家電の回収を行っている事業者と協定を締結するなどの取組により、令和4年度の市民1人が1日に排出する生ごみの量は963グラムで、令和2年度と比べ36グラムの減少、令和4年度のリサイクル率は18.7%で、令和2年度と比べて0.3%増加しています。

問 草木、剪定枝の減量化のため、粉砕機を無料で貸出しする考えは。

答 今年度策定する第5次ごみ減量行動計画の中で粉砕機の有効性などについても検討していきたいと考えています。

問 プラスチックごみを徹底的に分別回収し、リサイクルによる再生利用や熱回収によるエネルギー利用を推進する取組や市民、事業者、行政が連携、協働して使い捨てをしない活動を行うことが必要ではないか考えるが、プラスチックごみの削減についてどのような取組を行っているか。

答 容器包装リサイクル法のプラスチック以外は、燃えるごみとして処理されているため、今後は回収を進める方向で検討していきたいと考えています。

問 市のインボイス制度の登録状況は。

答 市では、取引の件数や金額の大小にかかわらず、買手側の事業者が申告の際に仕入税額控除の適否による不利益を被らないよう、一般会計や特別会計、企業会計、また特別地方公共団体である財産区など対応が必要な会計においてインボイスの登録を行い、現在制度開始に向けたシステム改修など各種準備を進めています。